

令和2年度 延岡青朋高等学校 学校関係者評価 (定時制課程)

『評価』は4段階の数値で行う。 4：十分達成されている 3：ほぼ達成された 2：やや不足な点がある 1：ほとんど達成されていない

重点目標	具体的な方策(P)	結果と課題(D)	自己評価(C)		改善策または充実項目(A)	学校関係者評価		
			項目別	総合		評価		コメント
						項目別	総合	
1 「確かな学力」の育成	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態を踏まえた教育課程の検討の継続 国語、数学、英語における学校設定科目を継続させ、学び直しや進学希望生徒へのニーズに対応する。 科目履修制度の的確な運用を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間で卒業できるⅡ部③の卒業予定生徒4名がアルバイトと学業の両立を目指している。 学校設定科目は生徒への必要性もあり各教科担当者の協力が得られた。科目履修生も4名受講。 	3		新課程へ対応した教育課程として、教務部及び教科代表者との連携を図り、生徒及び学校のニーズに対応したものと完成に近づいている。	3		<ul style="list-style-type: none"> 学業と仕事の両立をめざす生徒がいるとのこと、大変素晴らしいと感じている。他の生徒へも良い刺激となるのではないかと考える。 今後とも更なる「確かな学力」育成のため継続的な努力を続けていってほしい。 引き続き生徒のニーズ(学び直し、進学希望等)に向け学業、アルバイト(社会性、社会の一員として)の場を確保して教育・指導をお願いしたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 授業力および単位修得率の向上 月別指導計画を作成し、授業の振り返りを行うことで、個々の授業力向上を図る。 	教科会を通じて日々の授業改善や専門性の向上に努めることについて継続してほしい。	3		コロナによる休校により、授業時数が若干減り計画通りに進めていない。	3		<ul style="list-style-type: none"> コロナの中での授業時数が減ったことは理解できる。自主的に勉強する生徒への心構えや学校側の指導が大切な時期であると思う。 自習時の課題作成は大変だと思うが宜しくお願ひしたい。 今年はコロナ禍により計画通りに進まなかったと思われるが、こういう想定外の事態を体験できたことを次につなげて欲しい。 携帯電話、パソコンを活用してWEBによる授業を整備、活用してもらいたい。
	<ul style="list-style-type: none"> アクティブラーニングの視点を取り入れた研究授業及び授業研修やICTを活用した研究授業及び授業研修を実施することで単位修得率向上の一助とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で急激にICT化が進んだ。授業研修ではICTを中心に意義のある研修を実施することができ、すぐに授業等で生かされた。 	3.3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> コロナ対策でアクティブラーニングのやり方に制約ができた。 新しいタブレットの導入や全教室へのプロジェクト設置など、授業環境が改善された。 ギガ・スクール構想に即して、リモート授業体制ができるよう研修を進める必要がある。 	3.3		<ul style="list-style-type: none"> 4年制大学への合格者がでたこと大変おめでとうございます。大きな成果だと思う。 コロナを契機に授業のデジタル化が進んでいるようだが、これからの社会にはデジタルへの理解や運用するスキルは不可欠なので、上手く活用してもらえればと思う。 概ね目標が達成できたということなので、次のステップへと更に進んで欲しい。 WEBによる機材の設置、整備が進んでいるように見受けられた。遠隔による授業が今後増えると思います。生徒と離れていても目配り・気配り、思いやりの心で授業をお願いしたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階に応じた、グループ毎の取組。 キャリアパスポートの有効的な活用。 各選考試験に対応する、面接練習体制、教科と連携した作文指導及び教科指導の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ毎に設定したキャリア教育を基本に、対応できた。 先生方の協力により、希望生徒毎にしっかり対応出来た。九産大に2名合格し、久しぶりに商業科から経済系4年制大学への進学者があった。 	4			4		
2 「豊かな心」の育成	<ul style="list-style-type: none"> 規範意識の醸成(問題行動への常時指導や巡回指導の強化) 礼法やマナー指導の充実(集会や式典での指導の充実) 学校行事の充実(生徒会や生徒専門委員会との連携強化) 学校生活アンケートや日常の相談を通して、いじめや人間関係のトラブル、深刻な悩み等をすくいあげ、対応策を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇夕休みの巡回指導を全職員の協力を得て継続実施できた。 〇コロナの影響で学校行事が中止や延期になる中、感染対策を重視した行事の企画に着手できた。 ●今年度は、いじめが1件発生した。 〇前期1回、後期1回のいじめアンケートや担任による面談を通して早めに生徒の状況を知ることができた。 	3	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 後期いじめアンケートを受けて担任による面談をすべきであった。 障害者支援や児童虐待等に関する研修会が必要である。 	3	3.5	<ul style="list-style-type: none"> いじめがゼロであるということは、生徒にとって学校生活を安心して過ごせる大切な要素である。先生方の更なる目配り気配りをお願いしたい。 今年度の反省を踏まえ、更なる充実に向けて努力を続けて欲しい。 いじめをなくすことは、大変難しく困難であると思う。人を傷つけない心、思いやる心を少しずつ育てて行けたらと思う。 いじめアンケートは継続を願う。

		<p>・読書週間を通して本に興味を持ってもらい、POPコンテストの充実を図る。</p> <p>・読み聞かせを通して、心の感性を高める活動をすすめる。</p> <p>・1人当たりの貸し出し冊数の目標4冊を目指す。</p>	<p>○読み聞かせ放送は、後期は、生活体験発表大会の各校代表者の原稿を、生徒と職員にして頂き、好評であった。</p> <p>○POPコンテストは、素晴らしい作品多かった。</p> <p>○1人当たりの貸し出し冊数：5.8冊。</p>	4		<p>数多くのリクエストはなかったが、例年に比べれば生徒の要望が若干増えたので、希望図書の書籍購入ができた。</p> <p>次年度は、校務分掌や教科に限らず、個人的でも購入希望がないか先生方に声掛けしたい。</p>	4	<p>・読書は学力的にも人格形成的にも大切なことだと思う。外部に呼びかける等、書籍の充実に取り組んでもらいたいと思う。</p> <p>・心の醸成は重要なことなので今後も更なる指導をお願いしたい。</p> <p>・希望図書の購入ができたことは良かったことと思う。</p> <p>一人当たりの貸し出し冊数、目標を定めたことは良い数値目標だと感じる。</p>	
3	「健やかな体」の育成	<p>・規律ある生活習慣の確立（生徒専門委員会との連携強化）</p> <p>・保健安全教育の推進（各種研修会の充実）</p> <p>・部活動の活性化（心・技・体の強化・部活動規定の見直し）</p>	<p>○コロナをはじめとする感染防止対策について、生徒専門委員会（生活委員会・保健体育委員会）で有意義な話し合いができた。</p> <p>○県定通体育大会が中止になったが、部顧問の協力により感染対策をした上で部活動を実施できた。</p>	3	3.5	<p>ウイズコロナの生活様式に対して、休憩時間等でまだ3密をさけるということが不十分な実態がある。</p>	3	<p>・コロナ禍の中、生徒達も生活のリズムを保つことが大変だったのではないかとと思う。この経験をこれからの学校生活や社会生活にいかしてもらえればと思う。</p> <p>・未だにコロナの感染が終息していないので、今後も感染防止対策を進めて欲しい。</p> <p>・日々の生活、生活習慣、食生活が生徒個人の免疫力を高める生活習慣の指導を引き続きお願いしたい。</p>	
		<p>・生徒が危機管理意識や、施設等の安全管理、保健安全に関心を持ち、自ら考える力を育成するため、環境教育や防災教育、心肺蘇生法実技講習、講演会等を実施する。</p>	<p>○防災訓練年2回、心肺蘇生講習会年1回を実施し、危機管理の高揚をはかることができた。</p> <p>○手洗い場の自動化、冷水機の設置、トイレの改修があった。</p>	4		<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、5月の防止訓練中止や、消防署職員派遣の中止、実技講習会の中止等影響が出た。</p>	4	<p>・コロナの中よく取り組まれたと思う。</p> <p>・コロナ感染防止対策に終始せざるをえなかった状況なので、他の計画に支障が出たのは仕方ないと思う。</p>	
4	学校創生『チーム青朋』の確立	<p>各関係者・関係機関等との適切な連携を図る</p>	<p>生徒の支援について専門機関と連携できた。</p>	3			3	<p>・連携先を拡充し、発信力を高めてもらえれば助かる。</p> <p>・感染症発生時の対応についても今後対応等についてマニュアル等の対策を進めて欲しい。</p> <p>・引き続き専門機関との連携をお願いしたい。</p>	
		<p>P T A活動によって保護者と学校との連携・協働を図る</p>	<p>●行事の中止で、保護者間で接点を持つ場面を作ることができなかった。</p>	2	2.7	<p>螢月祭形態の変化に伴う新しいP T Aバザーの形を検討する。</p>	2	2.7	<p>・コロナの中では仕方が無いことだと思う。学校の認識しているように、新しい形の検討が必要である。</p> <p>・親と子、親と先生の活動の場がなくなり残念だったが先生、生徒の健康、安全を優先に今後考えていきたい。</p>
		<p>行事での通信制との連携を図り、全校的な協力体制を確立する。</p>	<p>卒業式会場作成で、協力しあえた。</p>	3			3	<p>・更なる協力をお願いしたい。</p>	